

6. 短時間勤務制度について

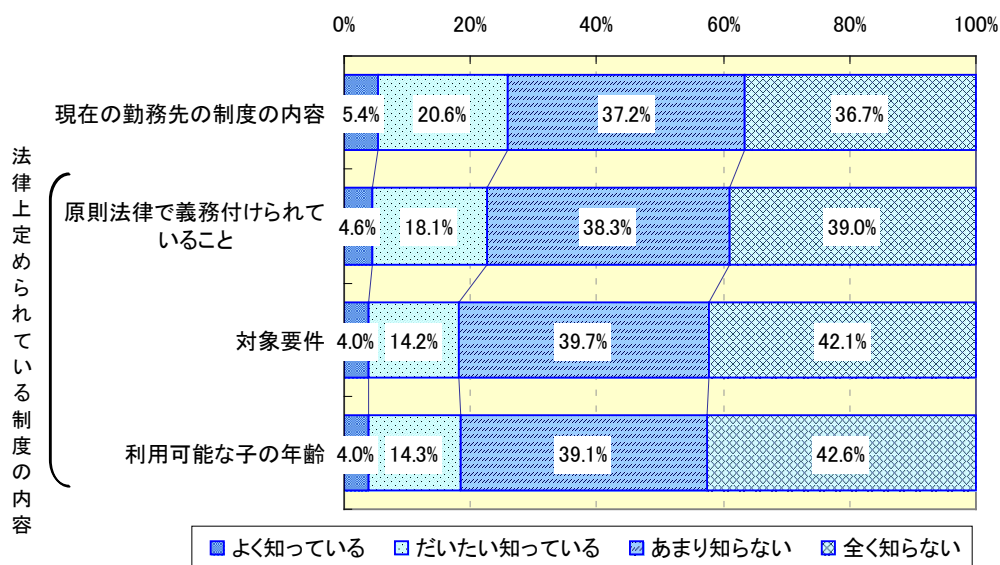
(1) 短時間勤務制度の認知状況

短時間勤務制度の認知状況について、「男性（正社員）」をみると、「現在の勤務先の制度の内容」については、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた知っている割合は26.0%である。また、法律上定められている内容（「原則義務づけられていること」「対象要件」「利用可能な子の年齢」）の認知状況をみると、いずれも2割前後である。

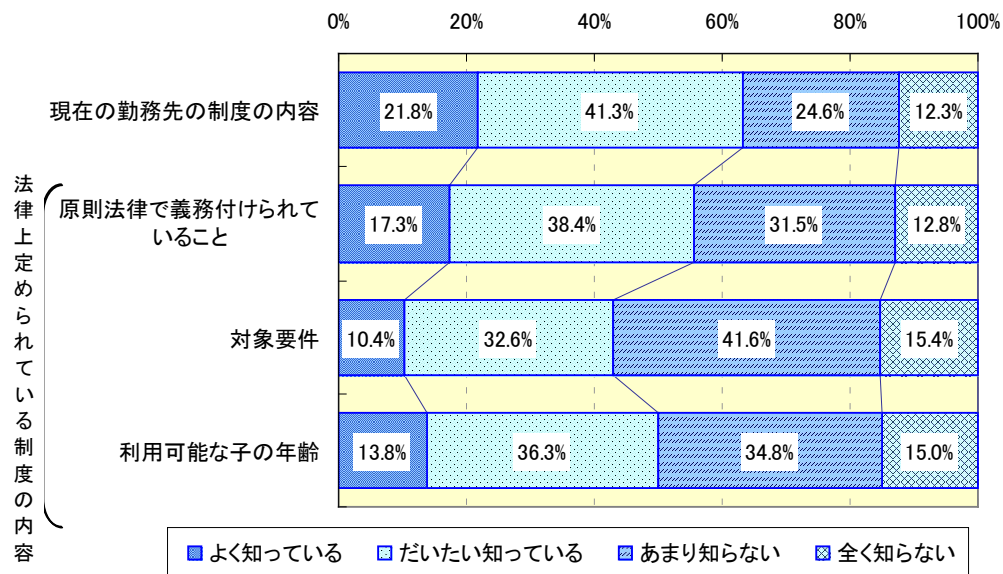
「女性（正社員）」をみると、「現在の勤務先の制度の内容」については、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた知っている割合は63.1%である。また、法律上定められている制度の内容については、「原則法律で義務づけられていること」は55.7%、「対象要件」および「利用可能な子の年齢」についてはおおむね4～5割である。

「女性（非正社員）」をみると、「現在の勤務先の制度の内容」については、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた知っている割合は16.8%、法律上定められている内容（「原則義務づけられていること」「対象要件」「利用可能な子の年齢」）については、いずれも1～2割にとどまっている。

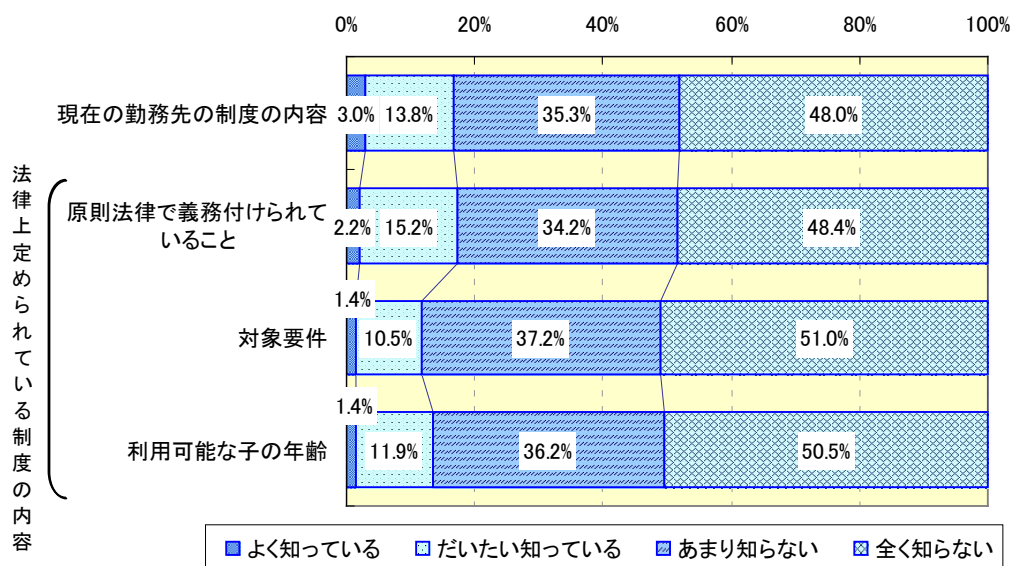
図表Ⅲ-85 男性（正社員）：短時間勤務制度の認知状況：単数回答（Q27） n=2,248



図表Ⅲ-86 女性（正社員）：短時間勤務制度の認知状況：単数回答（Q27） n=1,131



図表Ⅲ-87 女性（非正社員）：短時間勤務制度の認知状況：単数回答（Q27） n=1,109

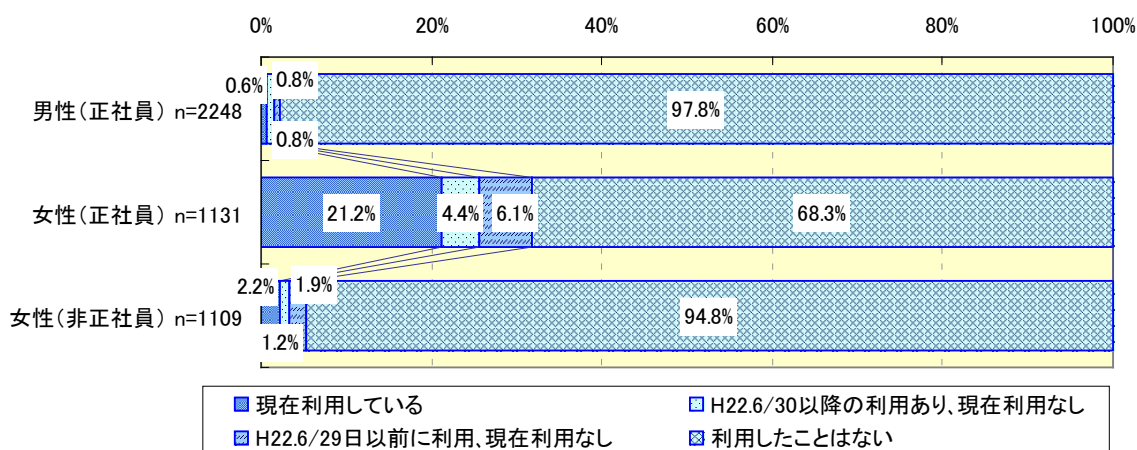


(2) 短時間勤務制度の利用経験

短時間勤務制度の利用経験をみると、「男性（正社員）」および「女性（非正社員）」は「利用したことはない」が9割以上を占めている。

「女性（正社員）」は、「現在利用している」（21.2%）と以前は利用していたが、現在は利用していない人（10.5%）を合わせると、約3割に利用経験がある。

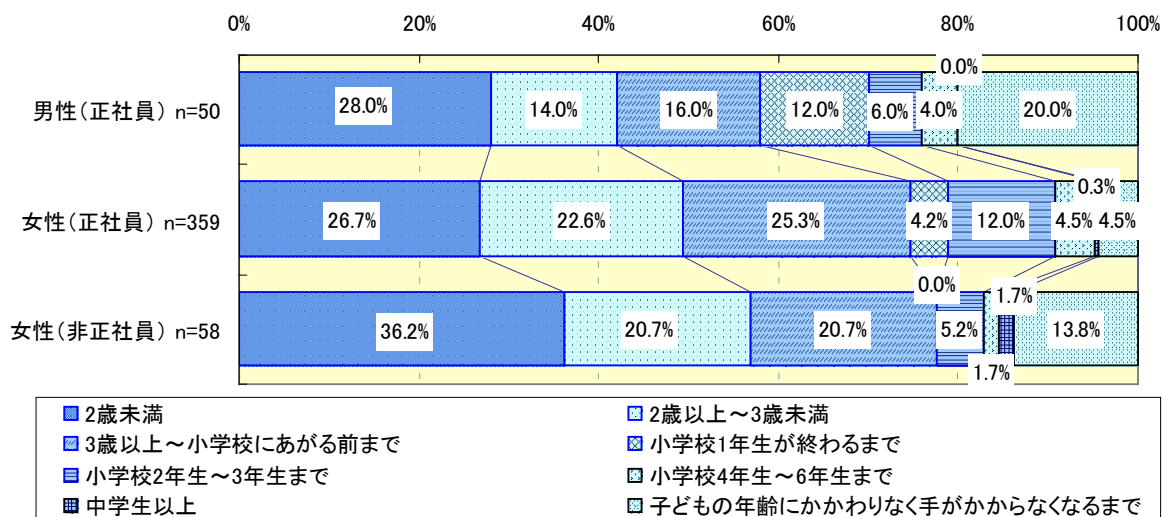
図表Ⅲ-88 短時間勤務制度の利用経験：単数回答（Q28-2）



(3) 短時間勤務制度の利用期間

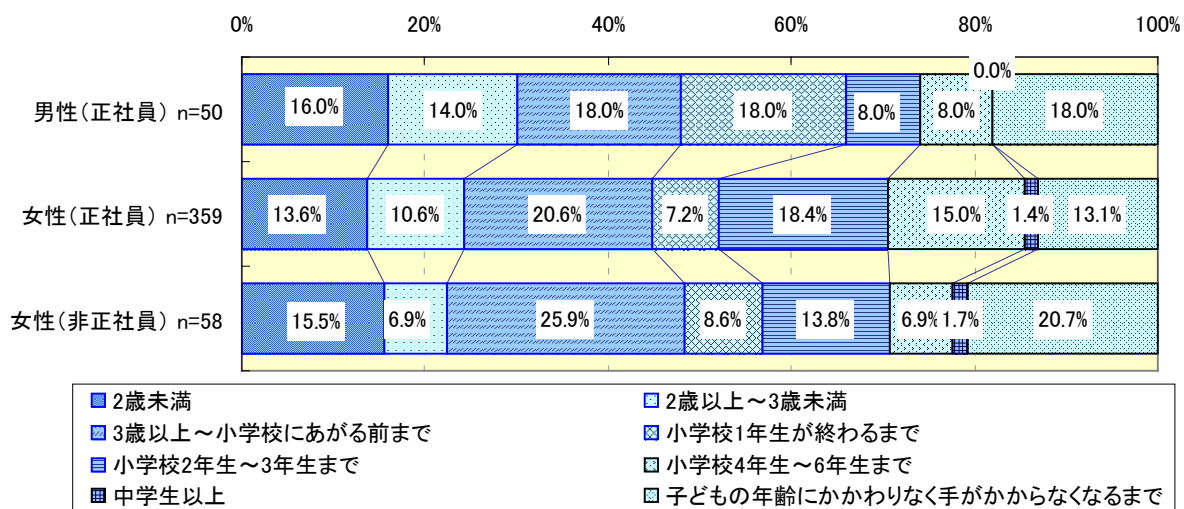
短時間勤務制度の利用経験者について、実際の利用期間をみると、「女性（正社員）」は「2歳未満」（26.7%）や、「2歳以上～3歳未満」（22.6%）、「3歳以上～小学校にあがるまで」（25.3%）がそれぞれ2～3割となっている。

図表Ⅲ-89 短時間勤務制度の実際の利用期間：単数回答（Q31-1）



短時間勤務制度の利用を希望する期間をみると、「女性（正社員）」では「3歳以上～小学校にあがるまで」（20.6%）の割合が最も高く、次いで「小学校2年生～3年生まで」（18.4%）、「小学校4年生～6年生まで」（15.0%）となっており、実際の利用期間に比べて、希望する期間では、小学生の期間の割合が高くなっている。

図表Ⅲ-90 短時間勤務制度の利用を希望する期間：単数回答（Q31-2）



短時間勤務制度の実際の利用期間別に、希望する利用期間をみると、両者が一致している割合はおおむね5割前後で、両者が一致していない人では、実際の利用期間よりも、希望する利用期間の方が長くなる傾向にある。

図表Ⅲ-91 実際の利用期間別 短時間勤務制度の利用を希望する期間：単数回答（Q31-2）

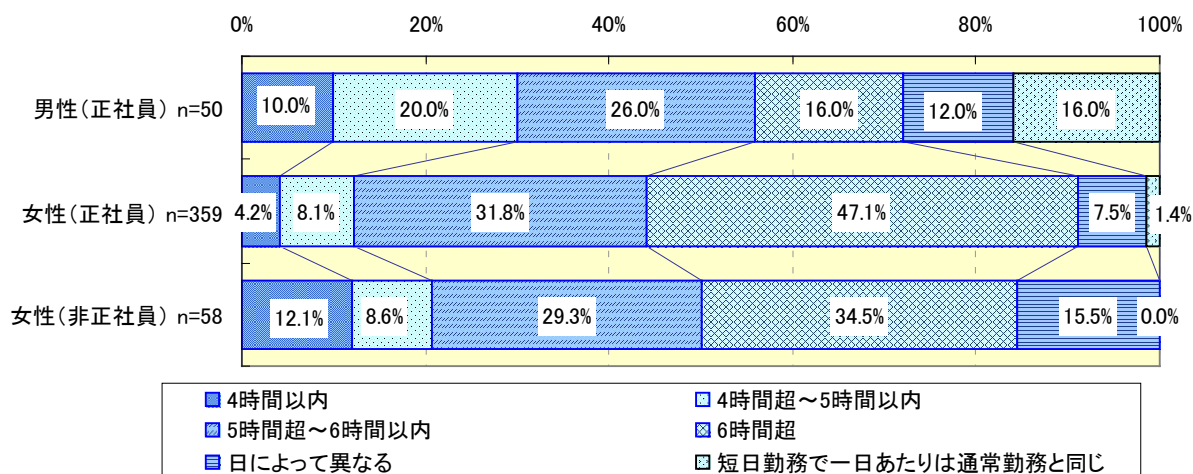
	合計	Q31(2) 短時間勤務制度の希望利用期間								
		2歳未満	2歳以上～3歳未満	3歳以上～小学校にあがる前まで	小学校1年生が終わるまで	小学校2年生～3年生まで	小学校4年生～6年生まで	中学生以上	子どもの年齢にかかわらず手がかからなくなるまで	
全体	467	66	49	98	40	78	62	6	68	
	100.0	14.1	10.5	21.0	8.6	16.7	13.3	1.3	14.6	
Q31(1) 短時間勤務制度の実際の利用期間	2歳未満	131	63	11	21	8	13	7	0	8
		100.0	48.1	8.4	16.0	6.1	9.9	5.3	0.0	6.1
	2歳以上～3歳未満	100	2	35	20	7	19	8	1	8
		100.0	2.0	35.0	20.0	7.0	19.0	8.0	1.0	8.0
	3歳以上～小学校にあがる前まで	111	1	2	57	11	19	11	1	9
		100.0	0.9	1.8	51.4	9.9	17.1	9.9	0.9	8.1
	小学校1年生が終わるまで	21	0	0	0	11	4	3	1	2
		100.0	0.0	0.0	0.0	52.4	19.0	14.3	4.8	9.5
小学校2年生～3年生まで	49	0	1	0	2	20	19	0	7	
	100.0	0.0	2.0	0.0	4.1	40.8	38.8	0.0	14.3	
小学校4年生～6年生まで	19	0	0	0	0	1	13	1	4	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	68.4	5.3	21.1	
中学生以上	2	0	0	0	0	0	0	2	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
子どもの年齢にかかわらず手がかからなくなるまで	34	0	0	0	1	2	1	0	30	
	100.0	0.0	0.0	0.0	2.9	5.9	2.9	0.0	88.2	

(4) 短時間勤務での勤務時間（所定労働時間）

短時間勤務制度の利用経験者について、短時間勤務での実際の勤務時間（所定労働時間）をみると、「女性（正社員）」は、一日あたり「6時間超」が47.1%、「5時間超～6時間以内」が31.8%である。

また、サンプル数がやや少ないことに留意する必要があるが、「男性（正社員）」は「短日勤務（1週の勤務日数が少ない）なので一日あたりは通常勤務と同じ」が16.0%を占めている。

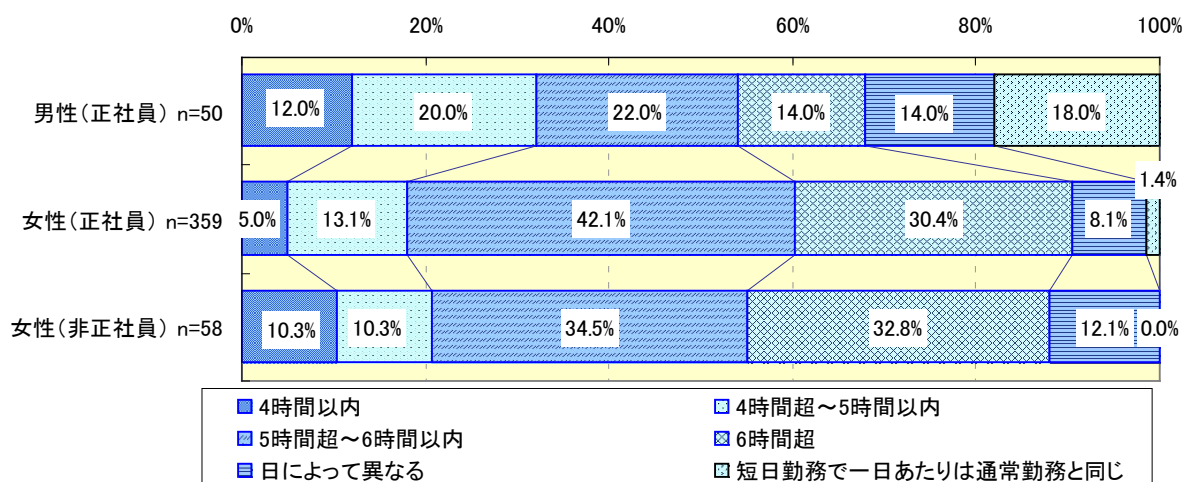
図表Ⅲ-92 短時間勤務での実際の勤務時間（所定労働時間：一日あたり）：単数回答（Q32-1）



また、短時間勤務で希望する勤務時間をみると、「女性（正社員）」は「5時間超～6時間以内」が42.1%、「6時間超」が30.4%で、実際の勤務時間と比べて、希望する勤務時間では「5時間超～6時間以内」の割合が高くなっている。

また、「男性（正社員）」は「短日勤務（1週の勤務日数が少ない）なので一日あたりは通常勤務と同じ」が18.0%と、2割弱を占めている。

図表Ⅲ-93 短時間勤務で希望する勤務時間（一日あたり）：単数回答（Q32-2）



短時間勤務制度の実際の勤務時間別に、希望する勤務時間をみると、両者が一致している割合は「6時間超」では62.9%と勤務時間が短い場合と比較して低く、一日の勤務時間が長くなるほど、両者が一致していない割合が高い傾向にある。

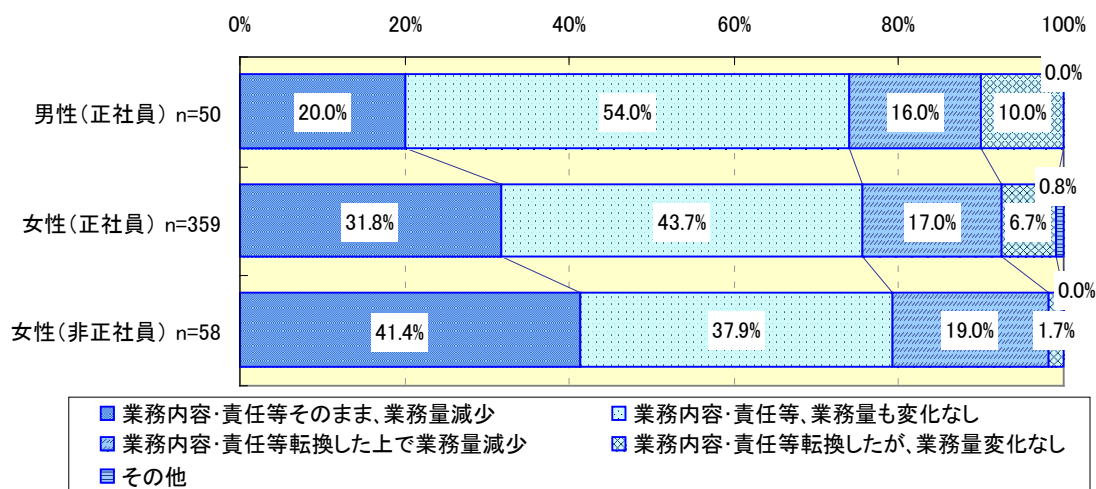
図表Ⅲ-94 実際の勤務時間別 短時間勤務制度で希望する勤務時間：単数回答（Q31）

	合計	Q32(2) 短時間勤務における希望勤務時間						
		4時間以内	4時間超～5時間以内	5時間超～6時間以内	6時間超	日によって異なる	短日勤務で一日当りは通常勤務と同じ	
全体	467 100.0	30 6.4	63 13.5	182 39.0	135 28.9	43 9.2	14 3.0	
Q32(1) 短時間勤務における実際の勤務時間	4時間以内	27 100.0	23 85.2	2 7.4	2 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	4時間超～5時間以内	44 100.0	4 9.1	35 79.5	3 6.8	1 2.3	1 2.3	0 0.0
	5時間超～6時間以内	144 100.0	1 0.7	19 13.2	112 77.8	4 2.8	7 4.9	1 0.7
	6時間超	197 100.0	1 0.5	7 3.6	51 25.9	124 62.9	12 6.1	2 1.0
	日によって異なる	42 100.0	0 0.0	0 0.0	14 33.3	6 14.3	22 52.4	0 0.0
	短日勤務で一日当りは通常勤務と同じ	13 100.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	11 84.6

(5) 短時間勤務制度の利用による仕事内容の変化

短時間勤務制度の利用による仕事内容の変化をみると、「女性（正社員）」は、「業務内容・責任等はそのままで、業務量も変わらなかった」が43.7%で最も割合が高く、次いで「業務内容・責任等はそのままで、業務量が減少」が31.8%、「短時間勤務になじみやすい業務内容・責任等へ転換した上で、業務量も減少した」が17.0%である。

図表Ⅲ-95 短時間勤務制度の利用による仕事内容の変化：単数回答（Q33-1）



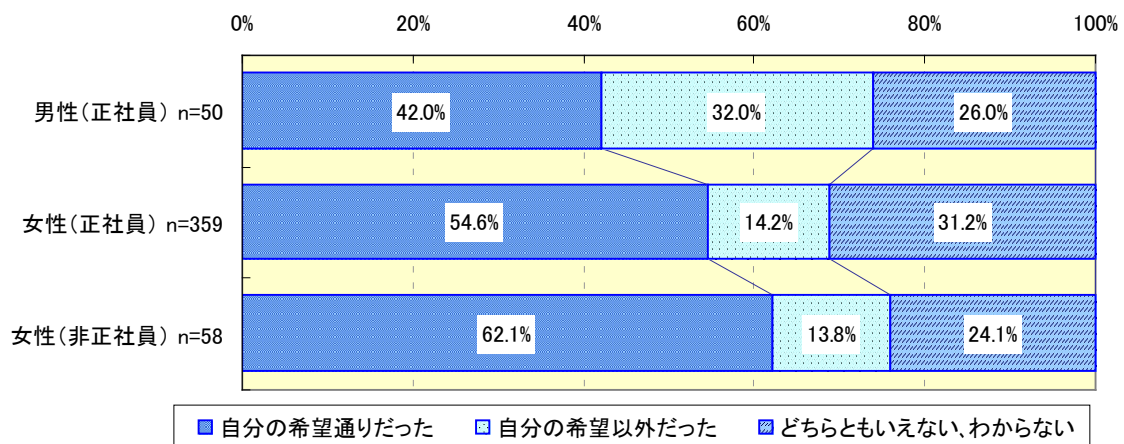
図表Ⅲ-96 短時間勤務制度の利用による仕事内容の変化について、「その他」の具体的内容：
自由記入（Q33-1）

- ・引き継ぎ等があり、実際の業務量は増えた
- ・業務内容・責任は減り、業務量も減った
- ・業務量が増えつつある・・・(少し忙しく人数の少ない職場)

短時間勤務制度の利用による仕事内容の変化について、自分の希望との合致状況をみると、「女性（正社員）」は、「自分の希望通りだった」は 54.6%と半数強、「わからない」が 31.2%である。また、「自分の希望以外だった」も 14.2%で 1 割強を占めている。

「男性（正社員）」は、「自分の希望通りだった」（42.0%）は 4 割強にとどまり、「自分の希望以外だった」（32.0%）とする割合が 3 割を超えている。

図表Ⅲ-97 短時間勤務制度の利用による仕事内容の変化について、自分の希望との合致状況
：単数回答（Q33-2）



短時間勤務制度の利用による仕事内容の変化別に、自分の希望との合致状況をみると、「業務内容・責任等はそのままで、業務量が減少した」では、他と比較して、「自分の希望通りだった」（68.2%）とする割合が高いが、「業務内容・責任等はそのままで、業務量も変わらなかった」「短時間勤務制度の利用になじみやすい業務内容・責任等へ転換した上で、業務量も減少した」では、他と比較して、「自分の希望以外だった」（18.9%、22.5%）とする割合が高い。

また、正社員女性だけに限ってみても、「業務内容・責任等は、そのままで、業務量が減少した」では、他と比較して、「自分の希望どおりだった」（66.7%）とする割合が高い。

図表Ⅲ-98 短時間勤務制度利用による仕事内容の変化について、自分の希望との合致状況
：単数回答（Q33）

		合計	Q33(2) 短時間勤務による仕事の変化の合致状況		
			自分の希望通りだった	自分の希望以外だった	どちらともいえない、わからない
全体		467 100.0	253 54.2	75 16.1	139 29.8
Q33(1) 短時間勤務制度利用による仕事内容の変化	業務内容・責任等そのまま、業務量減少	148 100.0	101 68.2	14 9.5	33 22.3
	業務内容・責任等、業務量も変化なし	206 100.0	111 53.9	39 18.9	56 27.2
	業務内容・責任等転換した上で業務量減少	80 100.0	30 37.5	18 22.5	32 40.0
	業務内容・責任等転換したが、業務量変化なし	30 100.0	10 33.3	3 10.0	17 56.7
	その他	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3

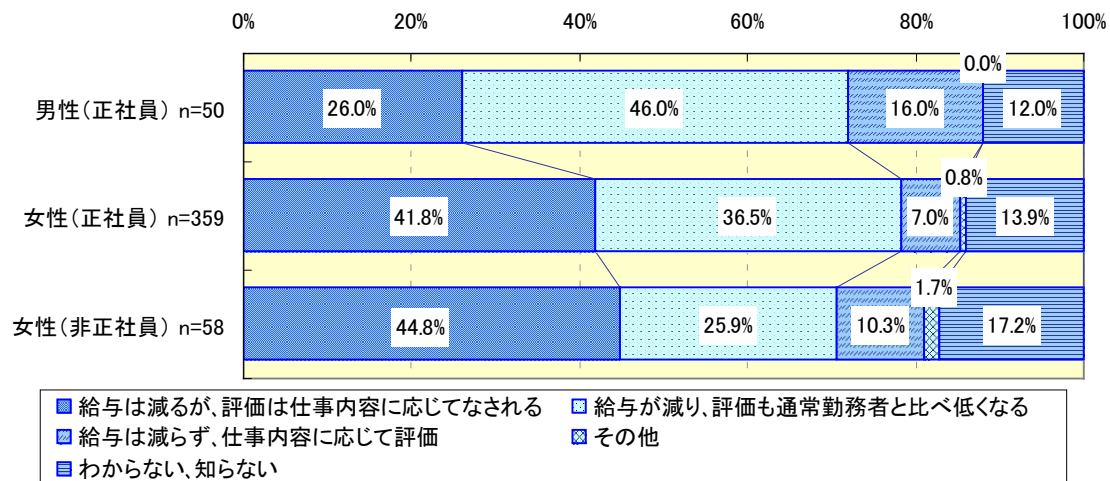
図表Ⅲ-99 女性（正社員）：短時間勤務制度利用による仕事内容の変化について、自分の希望との合致状況：単数回答（Q33）

		合計	Q33(2) 短時間勤務による仕事の変化		
			自分の希望通りだった	自分の希望以外だった	どちらともいえない、わからない
全体		359 100.0	196 54.6	51 14.2	112 31.2
Q33(1) 短時間勤務制度利用による仕事内容の変化	業務内容・責任等そのまま、業務量減少	114 100.0	76 66.7	11 9.6	27 23.7
	業務内容・責任等、業務量も変化なし	157 100.0	88 56.1	25 15.9	44 28.0
	業務内容・責任等転換した上で業務量減少	61 100.0	22 36.1	11 18.0	28 45.9
	業務内容・責任等転換したが、業務量変化なし	24 100.0	9 37.5	3 12.5	12 50.0
	その他	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3

(6) 短時間勤務制度利用者の評価方法（人事考課）

短時間勤務制度利用者の評価方法（人事考課）をみると、「女性（正社員）」は、「短時間で就労時間が減った分の給与は減るが、評価は仕事内容に応じてなされる」が41.8%、「短時間で就労時間が減った分の給与が減り、評価も通常勤務者と比べて低くなる」が36.5%である。

図表Ⅲ-100 短時間勤務制度利用者の評価方法（人事考課）：単数回答（Q34）



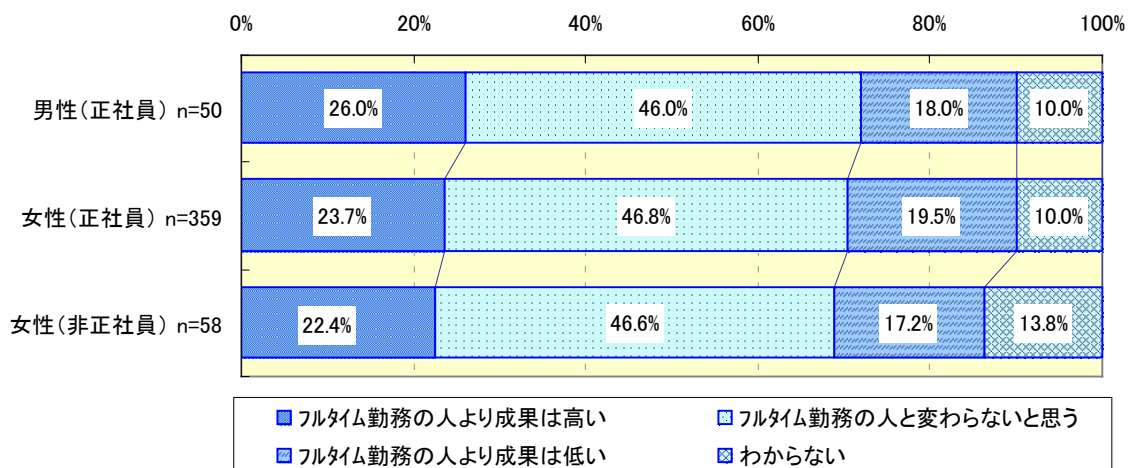
図表Ⅲ-101 短時間勤務制度利用者の評価方法について、「その他」の具体的内容：自由記入（Q34）

- ・給与は減らないが昇進はしない
- ・給与は変わらないが、賞与が減った
- ・就労時間が減った分給与は減るが、評価は仕事内容に応じる、と表向き言っているが、実際には低い
- ・短時間勤務イコール子どもが小さいので、急な休みや早退があり、主力とはみなされないし、自分も担えない

(7) 短時間勤務制度利用時のフルタイムの人と比較した成果状況

短時間勤務制度利用者について、短時間勤務制度を利用している（いた）時、フルタイムで働いている人と時間あたりでみたときに変わらない成果を出せている（出せていた）と思うかをみると、「女性（正社員）」は、「フルタイム勤務の人と変わらないと思う」が46.8%で半数弱である。また、「フルタイム勤務の人より成果は高い、またはどちらかという和高いと思う」（23.7%）とする割合は、「フルタイム勤務の人より成果は低い、またはどちらかという和低いと思う」（19.5%）の割合を、やや上回っている。

図表Ⅲ-102 短時間勤務制度利用時のフルタイムの人と比較した成果状況：単数回答（Q35）

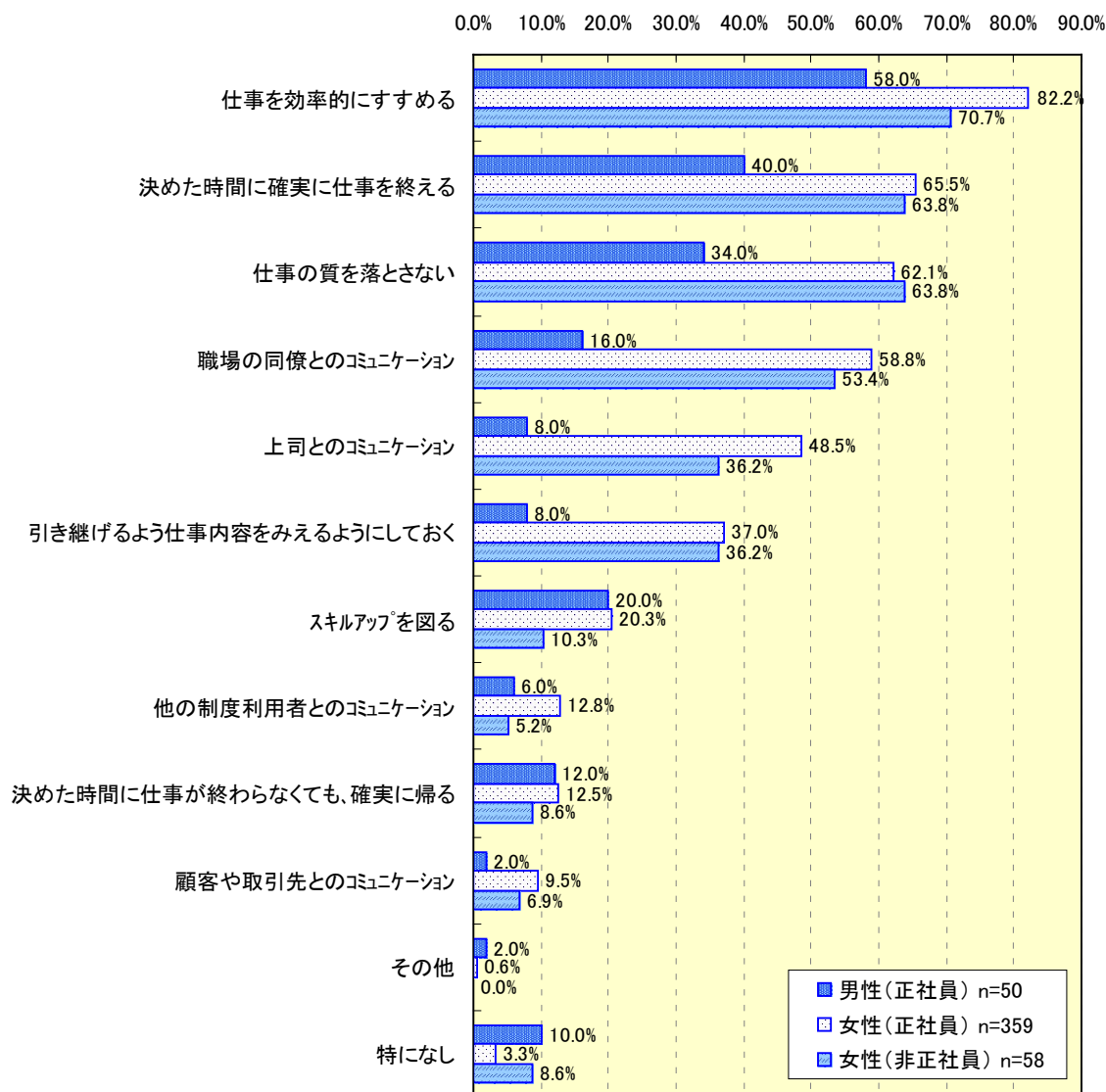


(8) 短時間勤務制度を利用する上で気をつけていること

短時間勤務制度を利用する上で気をつけていることをみると、「女性（正社員）」は「仕事を効率的にすすめること」（82.2%）、「決めた時間に確実に仕事を終えること」（65.5%）、「仕事の質を落とさないこと」（62.1%）などが上位にあげられている。

また、「職場の同僚とのコミュニケーション」（58.8%）や「上司とのコミュニケーション」（48.5%）など、制度利用時に職場内とのコミュニケーションを心がけている人が、おおむね5～6割となっている。

図表Ⅲ-103 短時間勤務制度を利用する上で気をつけていること：複数回答（Q36）



図表Ⅲ-104 短時間勤務制度を利用する上で気をつけていることについて、「その他」の具体的内容：自由記入（Q36）

- ・仕事の具合によっては日によって残業もすること
- ・仕事を頼みやすい形にしておく
- ・出先の理解

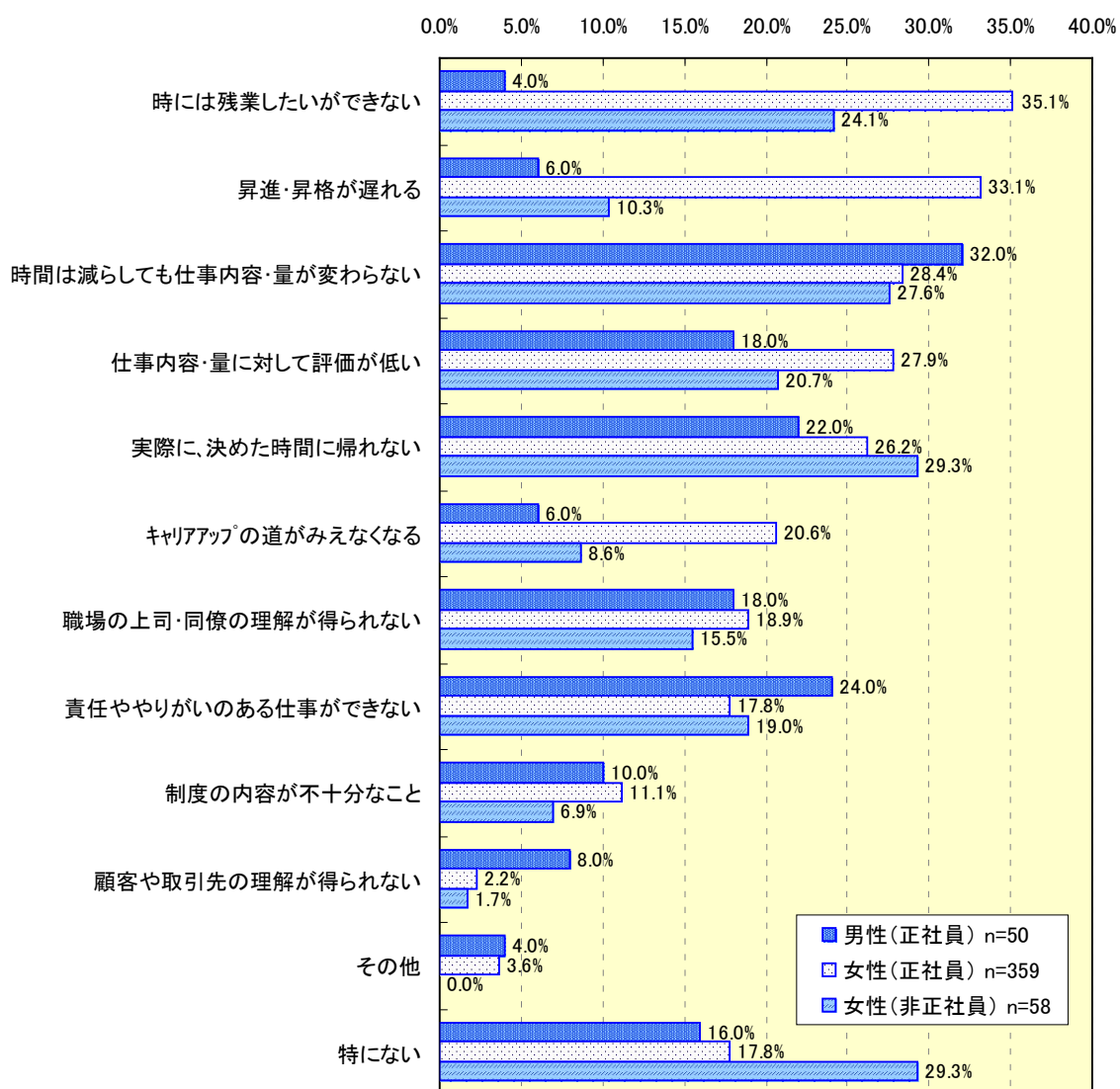
(9) 短時間勤務制度を利用する上で不満なこと

短時間勤務制度を利用する上で不満なことをみると、「女性（正社員）」は、「時には残業したいができないこと」（35.1%）、「昇進・昇格が遅れること」（33.1%）、「時間は減らしても仕事内容・量が変わらないこと」（28.4%）、「仕事内容・量に対して評価が低いこと」（27.9%）などが上位にあげられている。また、他と比較して、「昇進・昇格が遅れること」や「キャリアアップの道がみえなくなること」（20.6%）など、キャリアに関する項目の回答率が高い傾向がみられる。

「男性（正社員）」は、「時間は減らしても仕事内容・量が変わらないこと」（32.0%）、「責任ややりがいのある仕事ができないこと」（24.0%）などが上位にあげられている。

「女性（非正社員）」は、「特にない」（29.3%）が約3割で、不満なことの中では、「決めた時間に帰れないこと」（29.3%）、「時間は減らしても仕事内容・量が変わらないこと」（27.6%）などが上位となっている。

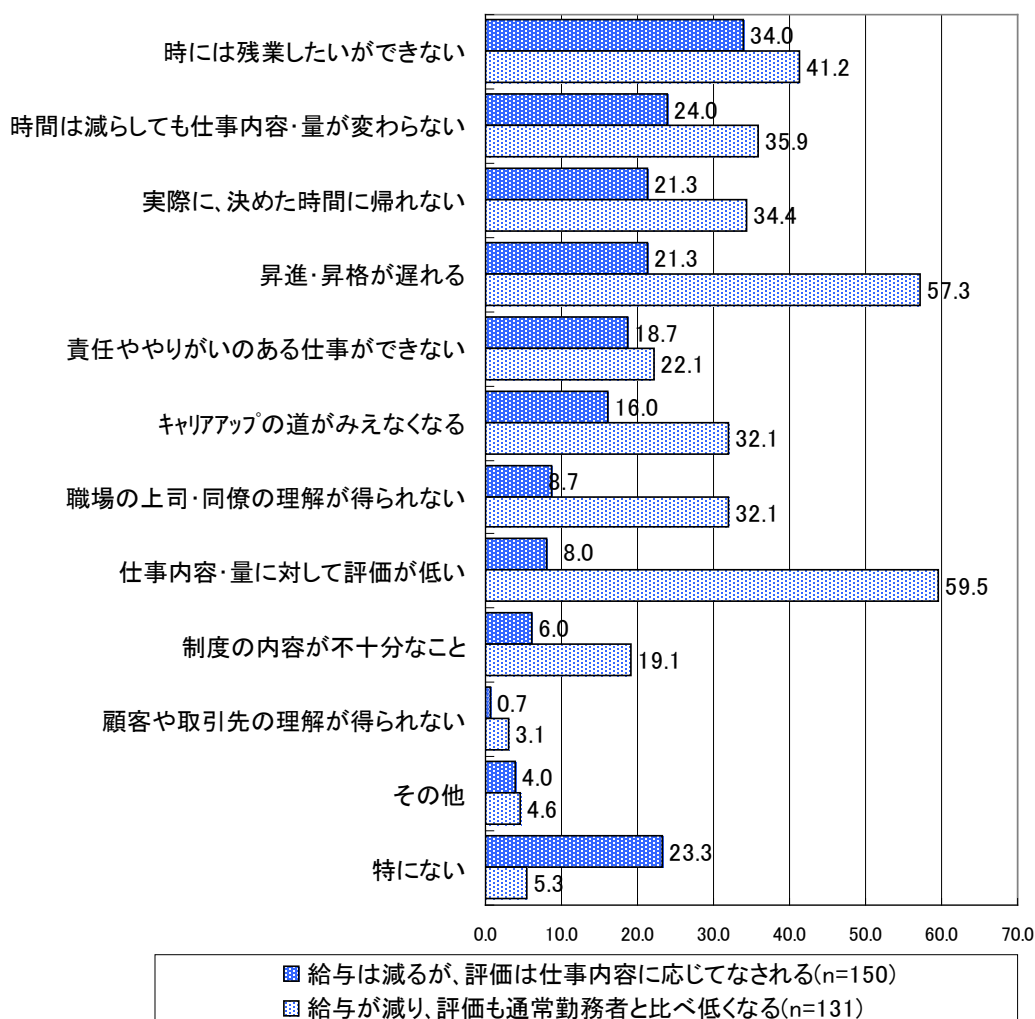
図表Ⅲ-105 短時間勤務制度を利用する上で不満なこと：複数回答（Q37）



図表Ⅲ-106 短時間勤務制度を利用する上で不満なことについて、「その他」の具体的内容：
自由記入（Q37）

- ・給与が減ること（4件）
- ・制度の基準の就業時間が短く、それにしか対応してもらえなく、相当な減額があった
- ・勤務時間は少ないがノルマは通常勤務者と変わらないこと
- ・期間終了後も子育てが続くので、長時間残業が当たり前の会社だから先が不安
- ・周りとのペースが合わない
- ・自分が原因で仕事に遅れが出た時に、誰かに手伝ってもらわなくてはいけないこと
- ・1人目で短時間勤務を利用したら残業できないことを理由に異動となったので、2人目では利用しなかった
- ・出勤・退社時間を自分で決められなかったこと
- ・コミュニケーションが図れない
- ・もっと気兼ねなく取りたい
- ・実際はほとんど利用できない会社が多い
- ・制度自体がなく、会社との交渉次第であること

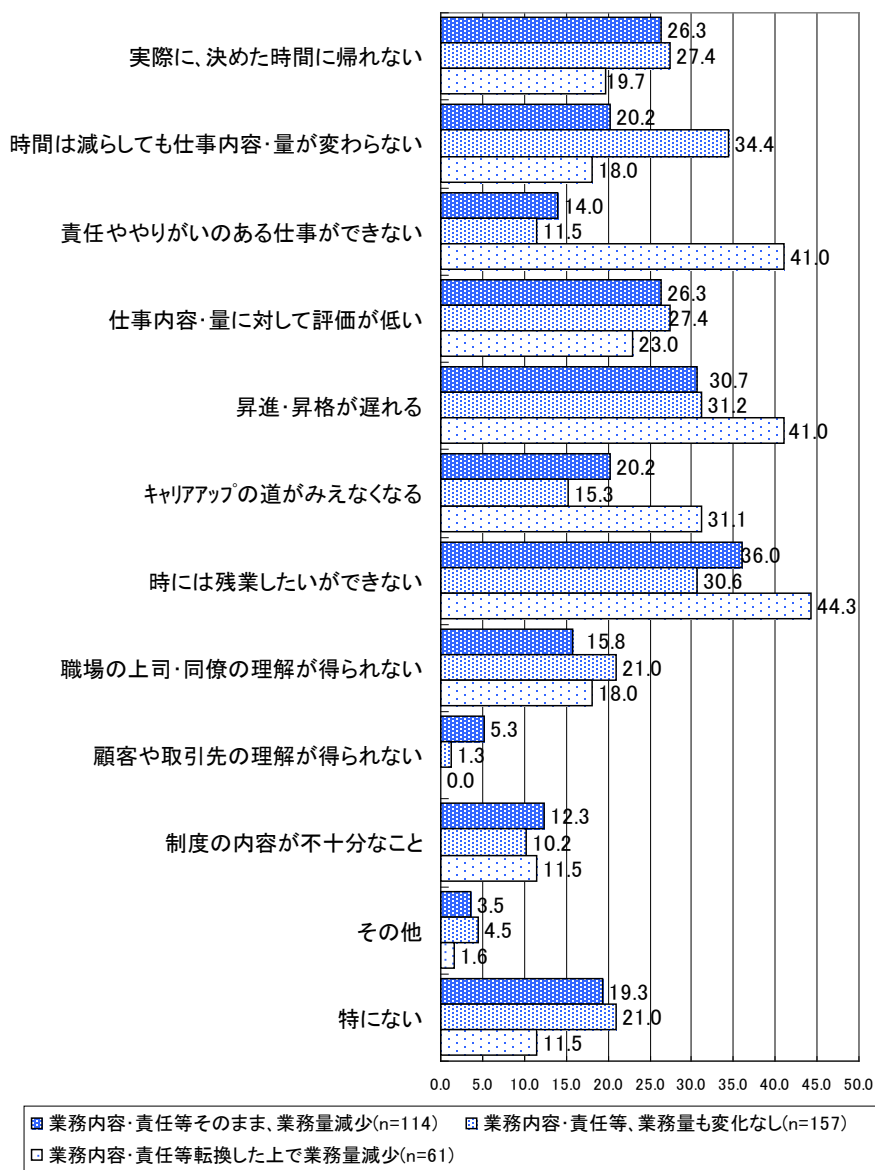
図表Ⅲ-107 女性（正社員）：給与設定・評価タイプ別 短時間勤務制度を利用する上で不満なこと：複数回答（Q37）



正社員女性について、給与設定と評価のタイプ別に短時間勤務制度利用上の不満をみると、短時間勤務を利用することで、「給与が減り、評価も通常勤務者と比べて低くなる」場合、「評価は仕事内容に応じてなされる」と捉えている人と比べて様々な不満が多い。特に、評価や昇進・昇格に関する不満が大きい。

さらに、短時間勤務の業務分担別に不満をみると、短時間勤務でも「業務内容・責任、業務量も変化なし」の人は多いが、そのことに不満を持っている割合も高い。一方、「業務内容・責任等が転換した」人では、仕事のやりがいや将来のキャリア形成に関する不満を持っている割合が高い。

図表Ⅲ-108 女性（正社員）：短時間勤務の業務分担別 短時間勤務制度制度を利用する上で 不満なこと：複数回答（Q37）

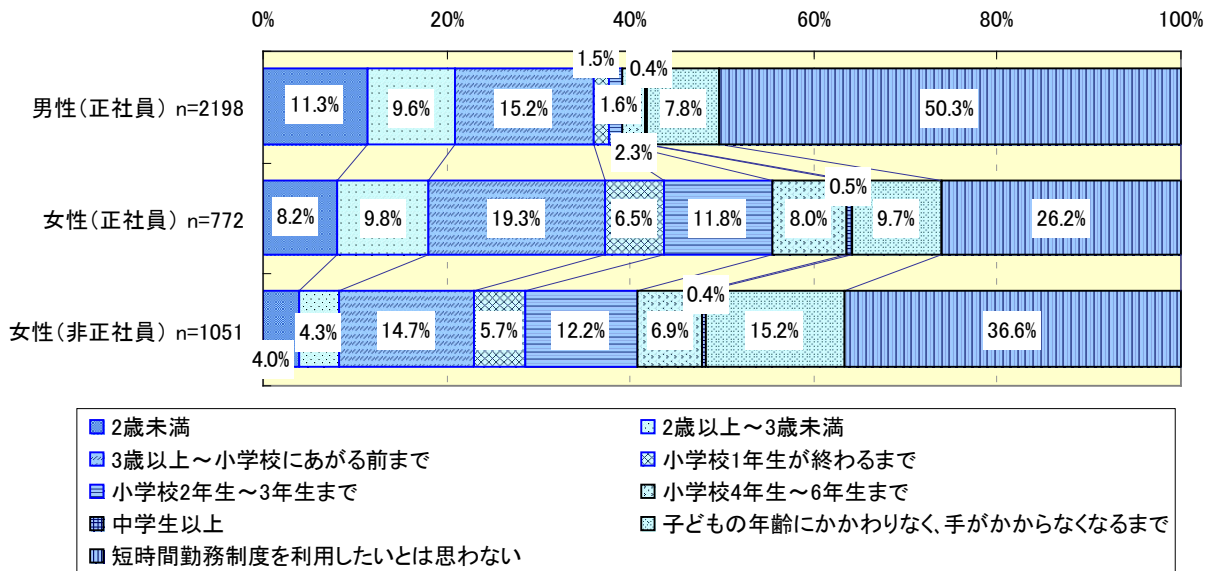


(10) 短時間勤務制度の利用希望

短時間勤務制度を利用したことがない人について、現在の職場で利用したいと回答した割合（「短時間勤務制度を利用したいとは思わない」を除いた割合）をみると、「女性（正社員）」は73.8%、「女性（非正社員）」は63.8%、「男性（正社員）」は49.7%となっている。

子どもが何歳になるまで利用したいかをみると、「女性（正社員）」では3歳未満が18.0%、「3歳以上～小学校にあがる前まで」が19.3%、小学生が26.3%となっている。

図表Ⅲ-109 短時間勤務制度の利用希望：単数回答（Q38）



正社員女性について、短時間勤務制度利用による仕事内容の変化別に、短時間勤務の利用期間の希望をみると、短時間勤務制度利用による仕事内容の変化によっても異なる。

図表Ⅲ-110 女性（正社員）：短時間勤務制度利用による仕事内容の変化別 利用希望：単数回答（Q38）

	合計	Q31(2) 短時間勤務制度の希望利用期			
		3歳未満	3歳以上就学前	小学校以上	
全体	359 100.0	87 24.2	74 20.6	198 55.2	
Q33(1) 短時間勤務制度利用による仕事内容の変化	業務内容・責任等そのまま、業務量減少	114 100.0	30 26.3	26 22.8	58 50.9
	業務内容・責任等、業務量も変化なし	157 100.0	43 27.4	30 19.1	84 53.5
	業務内容・責任等転換した上で業務量減少	61 100.0	12 19.7	12 19.7	37 60.7
	業務内容・責任等転換したが、業務量変化なし	24 100.0	1 4.2	5 20.8	18 75.0
	その他	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3

さらに、仕事と家事・育児の優先度希望別にみても、短時間勤務の利用期間の希望が異なる。

図表Ⅲ-111 女性（正社員）：仕事と家事・育児の優先度希望別 短時間勤務制度の利用希望：単数回答（Q38）

	合計	Q31(2) 短時間勤務制度の希望利用期			
		3歳未満	3歳以上就学前	小学校以上	
全体	359 100.0	87 24.2	74 20.6	198 55.2	
Q47(2) 仕事と家事・育児の優先度：希望	仕事優先	8 100.0	4 50.0	1 12.5	3 37.5
	両立志向だがどちらかという仕事優先	32 100.0	11 34.4	6 18.8	15 46.9
	家事・育児と仕事を同程度に重視	140 100.0	43 30.7	30 21.4	67 47.9
	両立志向だがどちらかという家事・育児優先	126 100.0	19 15.1	27 21.4	80 63.5
	家事・育児優先	53 100.0	10 18.9	10 18.9	33 62.3

短時間勤務者の働く職場の特徴によっても、希望する利用期間は異なっている。ただし、フルタイムに戻りやすい職場環境であったとしても、小学校以上まで利用を希望する層は、高い割合で存在する。

図表Ⅲ-112 女性（正社員）：職場の特徴別 短時間勤務制度の利用希望：単数回答（Q38）

